日蓮宗　常栄山
本照寺だより

第71号
厚木市下古沢133
TEL・046-247-1156
FAX・046-247-1156
振替・0230-7-35749
（加入者名・本照寺）
発行所
本照寺・須藤教裕
携帯090-9151-6438

日蓮大聖人を偲んで　お会式　稚児法要

■10月の第3土曜日、21日の午後2時からお会式法要が執り行われました。

これは日蓮大聖人のご命日（10月13日・7736年目）に向けて恩に報い感謝の気持ちを捧げる式典です。

雨天でしたので稚児行列は外でなく奥書院を出発し法要へ参列（稚児5名）、法要後は一昨年から始まった写経を3名の方々が参加。その後、日蓮宗動画を鑑賞しました。

また露店の出店（9店舗）の中、午後6時から雨も止み、万灯の奉納がなされました。今年の万灯は「世話人」「立正佼成会・りっしょうこうせいかい」の皆さんが奉納してくださいました。

■総代、世話人の方々のご協力、また祝儀をくださった73名、更には万灯奉納の方々に、深甚の謝意を捧げます。誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

（写真・長澤政幸氏）

午後2時。雨天のため奥書院から法要に向かう

写真㊤　雨も止み、午後7時から立正佼成会奉納の万灯と勢いのある纏（マトイ）。お稚児さんが花を添える。
写真㊦　写経に集中する姿が。

大晦日　唱題行　除夜の鐘

■通信教育や出版などを行う「ベネッセコーポレーション」が、親にこんな質問をしていました。

大晦日の夜11時に除夜の鐘をつきに行かせるべきか？

【ベネッセは次のように】

「ハレ（晴れ）の日を楽しむことが、ケ（褻）の日の活力になるのです。大晦日の夜に除夜の鐘をつくというのは、貴重な体験です。五感を通して、大晦日とお正月の雰囲気を味わうことができます。昔から人々が感じてきた年が改まることへの厳粛な気持ちを、子どもながらに実感として味わうことができるのです」と。

【問題】Aさん一家は小学5年生の息子を連れて、年末年始を過ごすためにAさんの実家に来ています。大晦日の夜11時ごろ、Aさんのお父さんが「今からお寺に除夜の鐘をつきに行こう」と言い出しました。それを聞いたAさんは、「もう遅すぎる。1月5日から3学期が始まるから、生活リズムを整えておかなければ」と言いました。あなたならどうしますか？

唱題行

■本照寺では師走12月31日、午後11時から除夜の鐘に先立ち、唱題行を行います（別紙を参照ください）。

そして午後11時45分に第一鐘を住職が撞き、以後、お参りの皆さんが順次、鐘を撞いて新年を迎えます。その後、皆さんと共に本堂にて新年のお題目をお唱えし、零時30分頃、新年のご挨拶（お話）を申し上げます。暖かい焚き火や甘酒、玉こんにゃく、お酒を用意してお待ちしています。

■1月1日、午後2時からは「新春盛運祈願祭」が執り行われ、**また今年から新年での写経が引き続き行われます（別紙参照）**。お檀家の皆さんはもちろん、お守りをお持ちでない方も皆さんどうぞ新年のお目出たい中で新たなスタートとしてご参拝くださいますように。サンドイッチの用意があります。

■**初めてご参加の方は賽銭箱の前にお経本を用意しますので、そちらをお持ちになり、お好きな所にお座りください。事前にお参りの仕方やお経本の進め方をご説明いたします。（毎月1日の盛運祈願祭は午前9時からです）**

ポイント

日本では、昔から「ケ（褻）の日」と「ハレ（晴れ）の日」を分けて考えてきました。農作業に代表される日常がケの日であり、祭り、冠婚葬祭、儀礼、年中行事などの非日常がハレの日です。このようなケの日とハレの日をうまく組み合わせることで、生活にリズムと楽しみを持たせてきたのです。いつもと違うハレの日を大いに楽しむことで、日常生活への活力も生まれるというわけです。大晦日やお正月も、このようなハレの日ですから、大いに楽しむといいと思います。

御守護札

■このたびお届けいたしましたお札ですが、「御守護札」は玄関出入り口の「外」にお貼りください。また台所へ貼るお札「三寶大荒神札・さんぽうだいこうじんふだ」は本照寺本堂内・お賽銭箱右側に奉安してありますので、ご希望の方は本堂にてご自由にお持ちください。また「日蓮宗暦」は適宜ご利用ください。

■古いお札は本堂前の「お焚きあげ箱」へどうぞ。12月1日から本堂前へ設置いたします。本照寺以外のお札類でも結構です。燃えない物はご遠慮ください（無料）。

朝の詩

自然
東京都三鷹市　根橋麻利　54

ただ自分の為に生きていることが誰かの為になっている
自然とはそういう風にできている
そしてまた誰かの為に生きていることが自分の為になっている
自然とはそういう風にできている
ただ美しく　そういう風にできている

それでも　それでも
神奈川県大和市　佐藤健光　76

それでもそれでも生きていくんだよ
どこかで　父母の声がする
それでもそれでも生きていくんだよ
どこかで祖父母の声がする
未来のあなたたち　命はつながっていて
みんなが見守っているんだよ

贈り物
東京都墨田区　野村　勇　68

幼い日　母と手をつないだ記憶がない
まして成人後そんな機会など皆無だった
母と手をつなげたのは母が息子の顔を忘れたあの日からだった
血管が浮き上がって　シミだらけの
だけど柔らかな母の手
私は思う存分その手を握って歩けた
あれは認知症の母がくれた贈り物だったと今思う

（産経新聞から）

『法名字彫』『ご埋葬』は
イシックスにお任せ下さい
字彫代 35,000円 税込
埋葬料 10,000円 税込
清掃・拝石メジ・香炉回交換（古い墓石）含みます

あんしんを永遠に
お墓
100
寺院墓地・墓石ひとすじに百年
本照寺様　出入り石材店
株式会社イシックス
0120-011140
isix.jp

「あのときの　あの苦しみも　あのときの　あの悲しみも　みんな　肥料になったんだなあ　じぶんが自分に　なるための」　相田みつを（詩人、書家。書籍に「にんげんだもの」）

■『魂でもいいから、そばにいて……三・一一後の霊体験を聞く……』（奥野修司　新潮社　２０１７）
２月に発売され、一ヶ月で六刷。好調な売れ行きだ。著者のノンフィクション作家、奥野修司氏（昭和23年生まれ）は次のように述べる。
「これから僕が書こうとしているのは、こうした『不思議な』としか形容できない物語ばかりである。誰にでも分かるという普遍性がないから、それを信じようと信じまいと僕はかまわない。再現性もないから、それが正しいかどうかを証明することもできない。ただ僕は、僕なりにその人の体験が確かであろうと判断したものを、ここで紹介するだけだ。事実であるかもしれないし、事実でないかもしれないが、確実なのは、不思議な体験をした当事者にとって、それは『事実』であるということである」

わたし、死んだのかしら

この度は日蓮宗から毎月発行される「宗報」から

■東日本大震災の２年後から、奥野氏は毎月のように被災地に通い、霊体験をした人の話を聞いた。

被災地の「幽霊話」とは次のようなものである。
たとえばタクシー運転手の話だ。
「古川駅（宮城県）から陸前高田（岩手県）の病院まで客を乗せたんだが、着いたところは土台しか残っていなかった。お客さん！　と振り返ったら誰も乗っていなかったんだよ」
仙台のある内装業者は、一緒に食事をしたときにふっとこんな話を漏らした。
「震災の年の夏だったが、仮設住宅で夜遅くまで工事をしていたら、いきなり窓から知らない人がいっぱい覗いていた。そのとき頭の中に若い女性の声で『わたし、死んだのかしら』なんて聞こえた。驚いて改めて窓を見たが、年寄りの幽霊ばっかりだった」
またある女子大生の話。
「閖上（ゆりあげ）大橋のあたりに行くと、高校時代にいつもそこで待ち合わせていた親友が立っているんです。でも、その子はお母さんと一緒に津波で流されているんです」
■さて、奥野氏は「当時はこんな話は掃いて捨てるほどあった」という被災者の霊体験の聞き取りを、改めて開始した。

妻と娘を失う

■本書は「春の旅」「夏の旅」「秋の旅」の構成で16人の聞き取りを収めるが、最初の「亀井繁さんの体験」を紹介する。

■亘理（わたり）郡に住む亀井さんは、津波によって妻と次女に先立たれた。
「妻と娘が発見されたのは、あの日から２週間経ったころです。２週間もあのつまれ、アンパンマングッズなどに埋もれるように安置された仏壇。その前には大小２つの骨壺が並ぶ。
「納骨しないと成仏しないと言われますが、成仏してどっかに行っちゃうんだったら、成仏しない方がいい。そばにいて、いつも出てきてほしいんです」
不思議な出来事があったのは、３月28日に山形で２人の遺体を火葬した夜のことだった。
「どう説明すればいいか…、火葬を終えたあと、友人の家に泊まったのですが、夜中に目が覚めると目の前に２人がいたんです。マスクをしてしゃがんだ妻に寄り添うようにしながら、娘が僕に手を振っていました。ああ、妻と娘が逢いに来てくれたんだと、泣いて手を伸ばしたら目が覚めたんです。この時点ではっきり夢だと分かりました」
亀井繁さんは、こうした不思議な出来事をノートに記録している。特に夢で見た映像のスケッチも添えられていて、よりリアルに伝わってくる。そのノートには、また次のように書かれていた。
「夢から覚めても、目を閉じると同じ２人の姿が見える。夢ではないと！　これは魂だ。『おいで、おいで…』。泣きながら手を伸ばすけれど、遠くで手を振るだけ。苦しい…苦しいよ。２度と抱きしめられないのか！」
■亀井繁さんは、眠って夢の中で、妻や娘に会うことを願うという生活を続ける。夢にあらわれる妻と娘と心を通わせることが、唯一の慰めであった。

待っている

■昨年の正月明けに見た夢について、亀井繁さんは次のように語った。
「妻が言ったその言葉のひとつひとつがすごく分かるし、何よりも『信頼している』と言われたのがすごく嬉しいんです。特に『待っている』との言葉は、私にとっては究極の希望です。みなさんの言う希望は、この世の希望ですね。私の希望は、自分が死んだときに最愛の妻と娘に逢えることなんです。死んだ先でも私を待っていてくれるという妻の言葉こそ、私には本当の希望なんです。いつか再会できるんだという一縷（いちる）の希望が持てたからこそ生きてこれたのだと思います」
■ある遺族は、その喪失感を「突然ぽっといなくなると、気が狂いそうですね」っと語った。
また「大切な人を失った遺族には、何年経っても復興はないのです」という亀井繁氏の言葉を心に刻みたい。

編集後記など

◆本照寺だよりの10月号にて「シニアカー」を貸してくださる方いませんか？　とお願いしたところ、何と有り難い！　お檀家のSさんとNさんが「知り合いの方が乗っているので借りてお持ちします」と言うではないですか！　そして軽トラに乗せて持ってきてくださったのです。そこで試乗したところ、「良い！」となり、新車は30万円以上するので中古を探すこととなりました。ところが…11月９日、何と！「奉納させていただきます」とお檀家のTさん！　何と有り難いことでしょう！泣。ということで、「スズキ・**セニアカー**」が本照寺に登場することとなりました！！　広く、坂もある本照寺の墓地で活躍する日も近いことでしょう！！

3月11日……東日本大震災では、未だに2千5百を超える遺体が発見されていない。依ってその遺族は未だにその死を受け止めきれずにいる……。

成仏しない方がいい

■花嫁衣装のベールにつ

前回は調査方法・全国の結果を紹介しました。今回は、神奈川県・厚木市の状況を見ていきます。

●**神奈川県の状況**
全国のグラフと並び順を合わせて、宗派グループ別の法人数と、その割合を表しました。
多い順に禅・浄土・真言・日蓮・天台・奈良仏教となり、上位４つの宗派グループの割合のバランスが取れています。全国平均と比べて浄土系の割合が半分強、日蓮系が２倍弱なのが特徴です。

●**厚木市の状況**
多い順に禅・浄土・日蓮・真言・天台です。全国平均と比べ、浄土・真言・天台系の割合が半分強、日蓮・禅系の割合が1.5倍弱・2倍弱となり、禅・日蓮系が比較的多いです。
なお、宗派単位での法人数は、曹洞宗25件、浄土宗９件、臨済宗９件、日蓮宗９件、真言宗６件、浄土真宗６件、天台宗２件、時宗２件、日蓮正宗１件です。
曹洞宗の存在感が圧倒的に大きく、全国的に件数の多い浄土真宗が比較的少ないことが分かりました。

宗派グループ別のお寺の割合

副住職のコーナー